



2023年 5月 23日

各 位

会 社 名 株式会社紀文食品  
代 表 者 名 代表取締役社長 堤 裕  
(コード番号：2933 東証プライム市場)  
問 合 せ 先 取締役兼常務執行役員  
グループ統括室長 上野 勝  
(TEL 03-6891-2600)

## 取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、持続的な成長及び長期的な企業価値向上を図るために、取締役会全体の実効性についての分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要についてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 評価の方法

当社の取締役（監査等委員である取締役を含む。）に対し、各設問に対する5段階評価及び自由記載によるアンケートを無記名方式にて実施し、その集計・分析に基づき取締役会にて審議を行いました。

アンケート結果の匿名性、評価・分析の客観性を担保するため、第三者機関に集計・分析を委託しております。

アンケートの項目は以下のとおりです。

- (1) 取締役会の役割・機能
- (2) 取締役会の構成・規模
- (3) 取締役会の運営
- (4) 監査機関との連携
- (5) 社外取締役との関係
- (6) 株主・投資家との関係

#### 2. 評価結果の概要

分析した結果、当社取締役会の実効性は概ね確保されていると評価し、特に「取締役会の運営」や「内部通報制度の構築と定期的な運用状況の監査の実施」については、当社取締役会の強みであると認識いたしました。また、前年度のアンケート結果において、当社取締役会の課題点として抽出された「議論の活性化」については、取締役会付議資料の事前配布や社外取締役への事前説明、フリーディスカッションの実施等の結果改善が図られ、当社取締役会における実効性向上のための好循環が生じていることを確認いたしました。

一方、当社取締役会のさらなる実効性向上のため認識した課題は以下のとおりです。

- ・後継者計画の議論
- ・取締役会の構成

### 3. 実効性向上に向けた取組み

これら結果を踏まえ、下記に記載する事項等に取り組むことで、より実効性の高い取締役会の実現に向けて、さらなる改善を進めてまいります。

- ・議論の活性化 . . . . . 前年度のアンケート結果を踏まえた施策により改善が図られておりますが、さらに深化させるべく、以下の内容に取り組んでまいります。
  - ① 取締役会で討議すべきテーマを予め取締役会において定め、年間スケジュール化する
  - ② より監督機能を発揮できるよう、経営執行に係る権限委譲に即して取締役会の議案を絞り込む
  - ③ 討議時間の確保を目指した議題選定・議事運営を行う
  - ④ 議案資料の提供時期の早期化に取り組む
  - ⑤ 必要に応じ、議案の事前説明を行う
- ・後継者計画の議論 . . . . . 当社では、2021年に任意の委員会である指名・報酬委員会の設置、また2022年には社外取締役の増員や、スキルマトリックスの整理を通じて当社経営層が備えるべきスキルの特定などを実施してまいりました。本年度のアンケート結果を受け、本課題を優先して議論すべき事項として再度認識し、取締役会及び指名・報酬委員会においてより議論を深めてまいります。
- ・取締役会の構成 . . . . . 当社取締役会における社外取締役の比率は3分の1以上であり、かつ2023年6月27日開催予定の第85回定時株主総会に付議する取締役・監査等委員である取締役候補者が、同株主総会決議により議案どおり可決された場合、1名が女性取締役（社外）として新たに選任されることとなります。それにより、当社取締役会におけるダイバーシティが推進され、コーポレート・ガバナンス体制は一層の強化が図られるものと考えております。

以 上